

平成 29 年 12 月 19 日
自動車局旅客課

タクシーの事前確定運賃の実証実験結果

～ 約 7 割の利用者がまた利用したいと回答 ～

事前確定運賃の利用回数は **7,879 回**、事前に入力した乗降車地から予測して確定した**事前確定運賃の総額とメーター運賃の総額の乖離率は約 0.6%**で、**運賃はおおむね適切に予測がなされていました。**

アンケート調査によると、**約 7 割の利用者が「また利用したい」と回答しており、最も多かった理由は「値段が決まっていて安心であること」**でした。

また、利用者の特徴をみると、**配車アプリを活用した新しいサービスは若年層を中心とした新たな顧客層への遡求に効果がある**と考えられます。

□ 事前確定運賃のねらい

- ▶ 「事前確定運賃」により、「渋滞や回り道等により運賃が高くなるかもしれない」、「到着するまでメーターを気にしなくてはいけない」という運賃に関する不安をなくし、タクシーを使いやすくする。
- ▶ 配車アプリの利便性を高め、普及を促進することにより、タクシーの空車走行を減らし、生産性を向上させる。

□ 実証実験の概要

- ▶ 期 間：平成 29 年 8 月 7 日（月）～平成 29 年 10 月 6 日（金）
- ▶ 地 域：東京 23 区、武蔵野市、三鷹市
- ▶ 車 両 数：4,648 両（日本交通グループ、国際自動車グループ、大和自動車交通グループ、第一交通産業グループ）
- ▶ 利用方法：配車アプリを通して、乗車地、降車地を入力して事前予約・配車依頼することで、事前に確定した運賃でタクシーを利用できる
- ▶ 調査概要：利用実績調査・利用者アンケートを実施し、事前に確定した運賃が実際の走行に照らして適切であったかどうかの検証や利用者意向を把握し、制度検討に活用。

□ 実証実験の結果

別紙のとおり

□ 今後の予定

今年度中にさらに詳細な分析を行い、それを踏まえて本格導入を目指した制度設計を行ってまいります。

【問い合わせ先】

自動車局旅客課 齋藤・鈴木

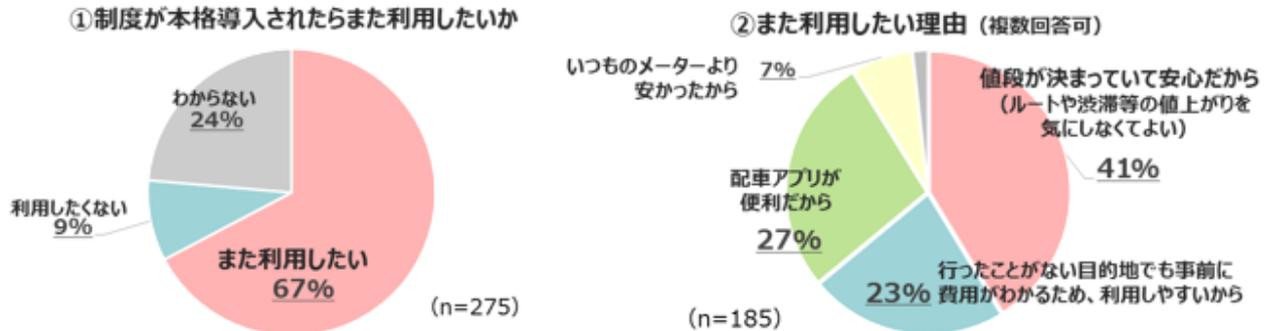
代表：03-5253-8111（内線 41242、41243）

直通：03-5253-8569

FAX：03-5253-1636

タクシーの事前確定運賃の実証実験結果

- ▶ 利用実績
 - ◻ 事前確定運賃を適用した利用回数：7,879 回
 - ◻ 事前確定運賃総額とメーター運賃総額との乖離率：約 0.6%
(39,915,410 円) (39,675,490 円)
- ▶ 本格導入後の利用意向
 - ◻ 約 7 割の利用者が「本格導入されたらまた利用したい」と回答
 - ◻ その最も多かった理由は「値段が決まっていて安心であること」



- ▶ 利用者の特徴
 - ◻ それまでタクシーをほとんど利用しなかった方又は月に 1～2 回程度の利用の方が多く利用されており (全体の約 3 割、とくに 20 代においては全体の約 5 割)、その中で、実証実験期間中に 4 回以上配車アプリを通してタクシーを利用した方は 29% (20 代では 34%) となった。
 - ◻ 20 代・30 代の利用者の割合は約 45%、昨年実施した 410 円タクシー実証実験の際の 31%と比較して、約 14 ポイント多い。
 - ◻ 配車アプリを活用した新しいサービスは若年層を中心とした新たな顧客層への訴求に効果があると考えられる。



◆アンケート回答者の年代別構成比 (410 円タクシー実証実験時との比較)

